



～初夏の風物詩～

いか釣り船団出航式

が行われました

6月8日（日）、港町酒田の初夏の風物詩となった「いか釣り船団出航式」が袖岡ふ頭で行われました。

酒田港の年間水揚げ量の約4割を占め、全国トップクラスとなる年間2,000トン超の漁獲量を誇る『いか』について、今年の大漁と操業中の安全を祈願して行われるイベントです。（主催：山形県漁業協同組合、等）

今年は11隻が参加し、船団長の齋藤茂氏（第58宝生丸（北海道小樽市））へ酒田舞娘より花束が贈られた後、太鼓道場「風の会」の和太鼓演奏、酒田舞娘の踊りが披露され、会場を盛り上げました。

勇壮な和太鼓の演奏が鳴り響く午後0時半頃、色鮮やかな大漁旗で彩られた各船は、五色のテープを持った家族や多くの市民の声援に送られながら、汽笛を鳴らし次々と出航しました。当面は、山形県沖合で“するめいか漁”を行い、その後はロシア海域や太平洋まで範囲を広げ操業をする予定です。

会場内のテントでは、数量限定で「いか」の一夜干し焼きが無料で振る舞われたほか、水産物などの販売も行われ、多くの市民で賑わいました。

庄内浜の新鮮な水産物については、「みなとオアシス酒田」([詳しくはこちら](#))でもお買い求め頂けます。是非ご利用ください！

